

■四国遍路ミニ巡礼の道（兵庫県・西宮市「甲山八十八ヶ所」）■

（巡礼日：令和6年9月11日、残暑厳しき日に）

四国遍路や日本百観音霊場札所巡礼には、日本各地にそのミニ巡礼写し札所がある。ご本家の巡礼にはそれなりの時間と財布が掛かるので、巡礼の習慣ができた往古には普通の庶民一般が巡拝することは非常に困難であった（遍路には、世を逃れるためや業病のために遍路に身を躰して行き倒れ遍路になったり、初めから乞食遍路の職業遍路として生涯遍路をしている遍路もあるが・・・）

特に遠方からの巡礼者は相当な路銀や時間が掛るので、暇や金を持って余している大旦那などにしかその機会は無かった。そのために、日本の各地に写し札所が勧請されて、このミニ巡礼路を辿ればご本家を巡礼したのと同じ功德が得られるという有難い習慣ができた。

この写し札所は極端に言えば全国津々浦々の各集落にひとつくらいは作られ、短は菩提寺の境内の片隅に作られた一廻り1分間程度の箱庭様の巡礼路から、長は1～2日間程度の市内巡礼路まで様々なものがゴマンとある。

これらの写し札所は街中の辻々にある場合が多いので、例えば本場の四国遍路道が静謐な田園や山中を通っていて、処々で立ち止まって如何にも懺悔しながら歩いているような参拝の気分は味わえない場合が多い。（本家の観音霊場札所巡礼の内のひとつ、「秩父観音霊場」札所巡礼は全て足で巡っても1週間で廻れるが、これなども本来は「西国観音霊場」（日本で最古の巡礼路。近畿6府県及び岐阜県に散在し、巡礼距離1,200km、歩いて巡るには2ヶ月間掛る）を、遠国の東国の人でも短期間で簡単に廻れるように秩父盆地に勧請した写し観音霊場である）。

さて、前置きが長くなったが、上述のように、写し巡礼路は簡単に廻れるご近所の巡礼路であるが、一方そのために巡礼の趣に欠ける巡礼路も多い。

しかし、兵庫県西宮市在住の学友・岳友・呑友が案内してくれた今回の兵庫県西宮市に勧請されている「甲山八十八ヶ所」遍路巡礼路は巡礼距離僅か2kmという短いものではあったが、素朴な山道の中に点々と勧請されている四国遍路の写し八十八ヶ所は中々に味があった。江戸時代の勧請というから、祀られている仏像にも時を経た風格が感じられた。

場所は、西宮市の北方、甲山（標高209m、西宮市の「市の山」）山麓にある。六甲山の東に当たる。周辺には県立甲山森林公園となっている豊かな樹林帯があった。この巡礼路が通っている山道は近くにある「神呪寺」（かんのうじ、通称甲山大師）の広大な山中の境内であるからか、綺麗に整備されていて幽玄の趣が感じられた。

この甲山写し遍路八十八ヶ所には、神戸の鶴越墓園で5年前に鬼籍に入った共通の学友の墓参りをした帰途に案内して貰ったので、遍路道の途中の何処かで西方浄土から飛んで来た彼と再会していたと思いたい。合掌。

さて、この巡礼は通常は一周1時間程度で満願できるらしいが、脚力減退と息切れに陥っている拙者は2時間半掛った。巡礼でなくても手軽なハイキングや散策で通う人も多いそうだ。何しろ発願の第一番札所は路線バスの某停留所前であり、結願札所第八十八番（神呪寺本堂の横に祀られている）のすぐ下にもバス停があるから、アプローチの足の便が頗る良い訳である。

話が横に逸れるが、「神呪寺」という寺号はチョットおどろおどろしくて怖い名前であるが、「神を呪う」という意味ではなく、「甲山」は元来「神の山」として崇められていて、その麓にあるこの寺も元々は「神ノ寺」（かんのじ）と呼ばれていて、それに「神呪寺」という漢字が宛てられたのだそう。 「神呪」とは呪文、マントラ、真言などと同義で「仏の真の言葉」という意味である。

この神呪寺は、天長8年（831年）、淳和天皇の第四妃・真井御前（得度して如意尼）の開祖による真言宗の名刹であるそうで、なるほど本堂も境内も由緒ありそうな佇まいであった。また、境内の展望台からは足下に西宮の街並みが広がっていて、気持ち良かった。これもご本尊・如意輪観世音菩薩と開祖如意尼の仏縁であろう。

マ、ウンチクはこのくらいにして、この巡礼路の様子や祀られている札所本地の写し本尊を若干ご覧頂いて四国遍路のミニ巡礼の功德を感じて頂ければ幸甚である。



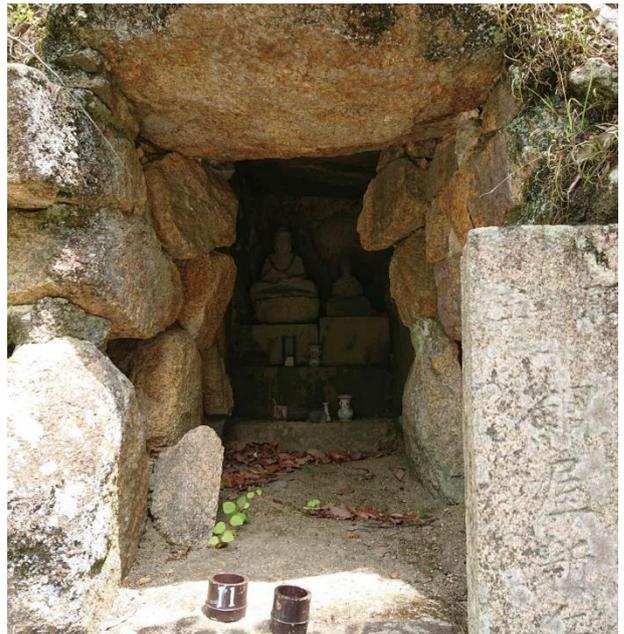
（第1番「霊山寺」はバス停の直ぐ近くの路傍）



（整備された巡礼路の様子。山坂道や石段が多い）



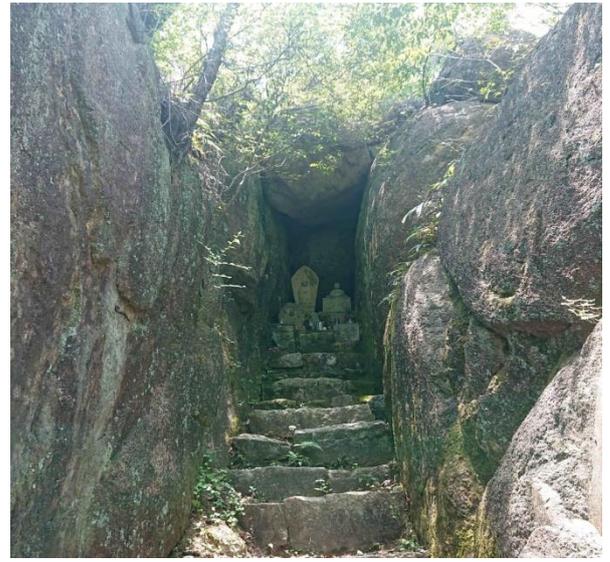
（第8番・熊谷寺、千手観音菩薩。品格があった）（石室に囲まれた札所もあった。第11番・藤井寺）



このミニ写し遍路でも、本地四国の札所と同様に本尊と弘法大師が対で祀られていた。



(片隅にひっそりと祀られていた第 47 番・八坂寺)



(奥まった場所に祀られていた第 50 番・繁多寺)



(見晴らしが良い場所の第 60 番・横峰寺。四国本地の横峰寺も石鎚山中腹のビューポイントにある)

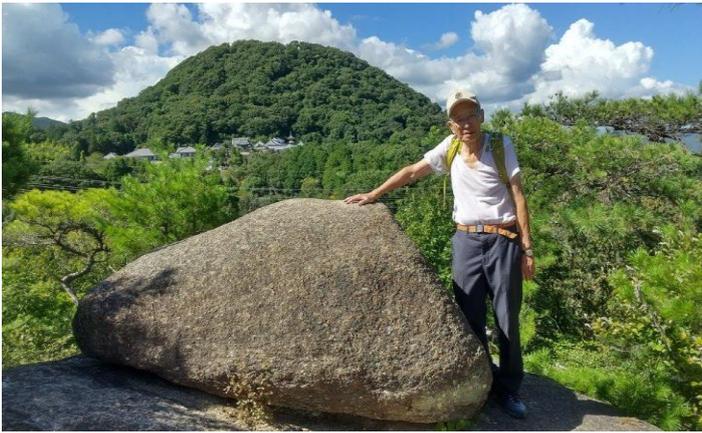


(同じく稜線の高台にある第 68 番・神恵院。四国本地も讃岐琴弾ヶ浜に刻れた銭型「寛永通宝」を見下ろすビューポイントであった)

第 70 番
本山寺



(本地四国・本山寺の本尊・馬頭観世音菩薩)



(奥の山が甲山、甲山の麓に見える葺が神呪寺)



(第 87 番・長尾寺。本尊の聖観世音菩薩立像の鑿に ⇒
格調の高さが感じられた)



(結願寺の第 88 番・大窪寺の写し本尊は神呪寺の境内にあった。結願寺の本尊にしては、本堂横の狭い片隅にひっそりと祀られていた。本地の大窪寺自体が結願寺らしくない佇まいであるのと同様か?)



(甲山を背負った神呪寺はなかなか貫禄があった)



(神呪寺境内からは足下に広がる西宮市街地が良く見えた)

今後巡礼される方々のご参考までに次ページに甲山八十八ヶ所巡りの案内図を掲げておく。

(引用出典：西宮市観光協会HP)

甲山八十八ヶ所巡り



石仏ウォーキングコース (四国遍路の約563分の1)

急坂や岩場を縫う山道のコース、全行程約2キロメートルには、新りをこぼれ、のみみ刻み周形成した石仏が並びます。やさしく柔急やかな表情、分怒形相の表情など、人々の心を誘う石仏めぐりの道です。

【アクセス】

阪神電車「西宮」えびす口下車、北ローターリーから
 阪神バス「鷺林寺線(東回り)」で「甲山大師」バス停下車
 約40分



小さな□に各札所の番号と寺院名(四国)が、お祈りの言葉が記されています。